



2024年11月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年4月12日

上場会社名 株式会社ノダ

上場取引所 東

コード番号 7879 URL <https://www.noda-co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 野田 励

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長 (氏名) 良知 正啓

TEL 03-5687-6222

四半期報告書提出予定日 2024年4月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年11月期第1四半期の連結業績(2023年12月1日~2024年2月29日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年11月期第1四半期	16,368	7.3	523	67.9	547	67.4	245	76.3
2023年11月期第1四半期	17,652	4.7	1,630	19.0	1,679	22.8	1,036	22.6

(注) 包括利益 2024年11月期第1四半期 693百万円 (51.8%) 2023年11月期第1四半期 1,439百万円 (20.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年11月期第1四半期	15.27	
2023年11月期第1四半期	64.54	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年11月期第1四半期	74,757	44,133	52.2	2,428.69
2023年11月期	76,371	44,041	50.8	2,416.67

(参考) 自己資本 2024年11月期第1四半期 38,994百万円 2023年11月期 38,801百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年11月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年11月期		30.00		25.00	55.00
2024年11月期(予想)		22.50		22.50	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年11月期の連結業績予想(2023年12月1日~2024年11月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	35,800	1.4	1,500	41.8	1,600	40.5	1,000	36.1	62.28
通期	72,000	1.7	2,800	40.5	3,000	40.2	1,800	36.5	112.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年11月期1Q	17,339,200 株	2023年11月期	17,339,200 株
期末自己株式数	2024年11月期1Q	1,283,586 株	2023年11月期	1,283,586 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年11月期1Q	16,055,614 株	2023年11月期1Q	16,055,614 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料の3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2023年12月1日～2024年2月29日)におけるわが国経済は、雇用・所得環境に改善の動きが見られたものの、ロシア・ウクライナ問題の長期化や中東情勢の緊迫化、不安定な為替相場、資源・エネルギー価格の高騰、世界的な金融引き締めなど、依然として先行き不透明な状況が続きました。

住宅業界におきましては、建築費高騰や物価上昇、職人不足などの影響から持家を中心に住宅需要の低迷が続いており、当第1四半期の新設住宅着工は、前年同期比で総戸数6.5%減、床面積10.1%減となりました。また、住宅着工の不振などを受け、合板の荷動きも低調に推移しており、引き続き各社で生産量や入荷量の調整が行われました。

このような厳しい事業環境において当社グループは、収益確保のため、労働生産性の向上や固定費のコントロール、原材料の見直し、配送効率の向上など各種コストダウンの徹底に取り組みました。また、昨年4月に全面リニューアルした内装建材シリーズ「カナエル」の定着・拡販に注力するとともに、合板やMDF(中質繊維板)など素材については、市場動向や製造・輸入原価に即した販売価格の設定と適正な在庫水準の維持をはかりながら、シェアの確保に努めました。しかし、住宅の着工減が響き販売量が伸び悩むなか、原材料・副資材コストは引き続き高水準で推移し、さらに、物流コストの上昇や国産針葉樹合板の販売価格低下なども利益の圧迫要因となり、収益性は低下いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における経営成績は、売上高16,368百万円(前年同期比7.3%減)、営業利益523百万円(前年同期比67.9%減)、経常利益547百万円(前年同期比67.4%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益245百万円(前年同期比76.3%減)となりました。

◇セグメント別の状況

〔住宅建材事業〕

内装建材シリーズ「カナエル」をてこに、意匠性や省施工など多様なニーズに応える高付加価値製品の提案活動を継続することによって、新築戸建市場における需要の掘り起こしに取り組むとともに、充実したラインナップの防音フロアやバリアフリー商品群「ユニバーサル ディレクト」等の拡販にも引き続き注力することによって、比較的堅調な貸家市場や、リフォーム・リノベーション市場、高齢者施設や公共・商業施設など非住宅市場のさらなる開拓を推進し、シェアの確保に努めました。

MDFについては、相次ぐ地震災害や国・自治体によるZEH(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)普及促進を踏まえ、耐震性能や透湿性能に優れた「HBW」(構造用ハイベストウッド)の提案強化を引き続き推進いたしました。

なお、住宅の着工減などの影響から建材・MDF製品全般について販売量が回復しないなか、生産調整の継続や高水準で推移する原材料・副資材価格などが利益率低迷の要因となりましたが、電力料など一部の製造コストは前年同期に比べ低下いたしました。この結果、住宅建材事業の売上高は10,037百万円(前年同期比3.4%減)、セグメント利益は146百万円(前年同期比13.9%増)となりました。

〔合板事業〕

合板については、国産・輸入いずれも需要の低迷により販売量が低水準で推移する厳しい状況が続きました。

国産針葉樹合板は、販売価格が値下がり傾向で推移するなか、依然として国内出荷量は低迷しており、当社グループを含めた合板メーカー各社は生産調整を継続いたしました。

輸入南洋材合板は、前期において港頭在庫の調整が進んだことから入荷量に持ち直しの動きが見られたものの、国内需要は依然として弱含みであり、販売価格は緩やかな値下がり傾向で推移いたしました。また、円安により国内仕入コストが高止まりとなる厳しい状況が続きました。

この結果、合板事業の売上高は6,330百万円(前年同期比12.8%減)、セグメント利益は808百万円(前年同期比58.0%減)となりました。

〈セグメント別売上高及び損益〉

	売上高(百万円)	前年同期比(%)	構成比(%)	セグメント利益(百万円)	前年同期比(%)
住宅建材事業	10,037	△3.4	61.3	146	+13.9
合板事業	6,330	△12.8	38.7	808	△58.0
調整額※	—	—	—	△431	—
合計	16,368	△7.3	100.0	523	△67.9

※セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去、並びに各報告セグメントに配分していない全社費用です。

(2) 財政状態に関する説明

◇資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は74,757百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,613百万円減少いたしました。その主な要因は、現金及び預金の減少234百万円、受取手形、売掛金及び契約資産の減少2,023百万円、製品の増加751百万円、原材料及び貯蔵品の減少261百万円、機械装置など有形固定資産の減少103百万円、投資有価証券の増加360百万円などによるものです。

負債は30,624百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,705百万円減少いたしました。その主な要因は、支払手形及び買掛金の減少112百万円、短期借入金の減少116百万円、未払金の減少481百万円、設備関係支払手形の減少547百万円、長期借入金の減少196百万円などによるものです。

純資産は44,133百万円となり、前連結会計年度末に比べ92百万円増加いたしました。その主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益による利益剰余金の増加245百万円及び配当による利益剰余金の減少401百万円、その他有価証券評価差額金の増加322百万円、非支配株主持分の減少100百万円などによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

住宅需要の回復が見通せないなか、物流や建設業界における残業規制（いわゆる2024年問題）による人手不足など国内経済への影響が懸念される厳しい事業環境が続くものと予想されますが、当社グループは引き続き内装建材シリーズ「カナエル」の拡販・定着や「HBW」の提案強化、合板市況の動向を見極めた適切な価格設定と販売量の確保、各種コストダウンなどに取り組み、収益の確保に努めてまいります。

なお、本年1月15日に公表いたしました2024年11月期の連結業績予想に変更はございません。今後、修正が必要になった場合は、速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年2月29日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	22,743,257	22,508,484
受取手形、売掛金及び契約資産	12,091,582	10,068,346
製品	8,235,777	8,987,535
仕掛品	1,581,170	1,596,201
原材料及び貯蔵品	3,475,991	3,214,168
その他	674,131	717,373
流動資産合計	48,801,910	47,092,109
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,166,527	3,126,249
機械装置及び運搬具(純額)	5,075,198	4,986,785
工具、器具及び備品(純額)	403,398	376,761
土地	6,264,430	6,264,430
立木	124,806	124,474
リース資産(純額)	286,185	338,530
建設仮勘定	799,389	798,883
有形固定資産合計	16,119,936	16,016,116
無形固定資産	540,335	480,599
投資その他の資産		
投資有価証券	8,619,860	8,980,251
繰延税金資産	1,513,163	1,417,241
その他	778,194	773,595
貸倒引当金	△2,000	△2,000
投資その他の資産合計	10,909,218	11,169,087
固定資産合計	27,569,490	27,665,803
資産合計	76,371,401	74,757,912

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2023年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年2月29日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,298,001	11,185,948
短期借入金	7,466,065	7,349,923
未払金	1,874,533	1,392,641
賞与引当金	-	486,574
未払法人税等	196,885	187,371
設備関係支払手形	1,172,560	624,963
その他	2,031,980	1,298,078
流動負債合計	24,040,027	22,525,500
固定負債		
長期借入金	1,861,090	1,664,820
リース債務	421,527	422,874
環境対策引当金	13,073	12,812
長期未払金	69,420	44,860
退職給付に係る負債	5,914,475	5,915,034
その他	10,750	38,517
固定負債合計	8,290,336	8,098,918
負債合計	32,330,363	30,624,419
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,141,000	2,141,000
資本剰余金	1,587,822	1,587,822
利益剰余金	34,071,064	33,914,866
自己株式	△706,189	△706,189
株主資本合計	37,093,696	36,937,499
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,604,878	1,927,467
繰延ヘッジ損益	△5,225	121
為替換算調整勘定	378,674	383,856
退職給付に係る調整累計額	△270,870	△254,792
その他の包括利益累計額合計	1,707,457	2,056,652
非支配株主持分	5,239,883	5,139,341
純資産合計	44,041,037	44,133,493
負債純資産合計	76,371,401	74,757,912

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2022年12月1日 至2023年2月28日)	当第1四半期連結累計期間 (自2023年12月1日 至2024年2月29日)
売上高	17,652,287	16,368,757
売上原価	12,829,441	12,667,800
売上総利益	4,822,845	3,700,956
販売費及び一般管理費	3,191,969	3,177,690
営業利益	1,630,875	523,265
営業外収益		
受取利息	630	517
受取配当金	9,735	11,344
持分法による投資利益	42,983	27,432
為替差益	3,225	-
その他	29,602	18,007
営業外収益合計	86,177	57,301
営業外費用		
支払利息	17,080	18,647
売上債権売却損	7,009	8,597
その他	13,889	6,268
営業外費用合計	37,979	33,512
経常利益	1,679,074	547,055
特別利益		
補助金収入	252,480	-
固定資産売却益	-	2,807
特別利益合計	252,480	2,807
特別損失		
固定資産除却損	6,753	35,112
固定資産圧縮損	252,480	-
特別損失合計	259,233	35,112
税金等調整前四半期純利益	1,672,321	514,749
法人税、住民税及び事業税	311,617	186,000
法人税等調整額	62,689	△16,738
法人税等合計	374,307	169,262
四半期純利益	1,298,013	345,487
非支配株主に帰属する四半期純利益	261,792	100,294
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,036,220	245,193

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2022年12月1日 至2023年2月28日)	当第1四半期連結累計期間 (自2023年12月1日 至2024年2月29日)
四半期純利益	1,298,013	345,487
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	123,733	321,333
繰延ヘッジ損益	26,665	5,347
為替換算調整勘定	7,933	3,509
退職給付に係る調整額	16,567	16,077
持分法適用会社に対する持分相当額	△33,571	2,090
その他の包括利益合計	141,328	348,358
四半期包括利益	1,439,341	693,846
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,180,231	594,388
非支配株主に係る四半期包括利益	259,110	99,457

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。